

令和6年度第2学期 法学部定期試験時間割

試験日	試験 時間	配当 年次	科目	教員名	履修者数	教室	学生番号	持ち込み条件
2/3 (月)	1	学3-4	社会保障法Ⅱ	川久保 寛	124	8	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
		学3-4	行政法Ⅳ	川端 倅司	45	5	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	2	学2	民法Ⅱ	林 耕平	147	8	～01234082 (15*****、17*****を含む)	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					100	W203	01234083～	
	3	学2	商法Ⅰ	野田 耕志	155	8	～01234073 (17*****、18*****を含む)	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					100	W203	01234074～	
	4	学2	刑事訴訟法	上田 信太郎	150	8	～01234083 (15*****を含む)	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					102	W203	01234084～	
	5	学3-4	知的財産法	吉田 広志	100	8	～01224087	後日掲示にて指示
					75	W203	01224091～	
2/4 (火)	1	学2	国際法Ⅰ	開出 雄介	155	8	～01234054 (34*****を含む)	有斐閣刊行の国際条約集 (書込み(傍線は除く)・付箋紙貼付のないもの)
					116	W203	01234055～	
	2	学2-4	法史学Ⅰ	桑原 朝子	120	8	～01234044	授業内で指定したA4用紙1枚：裏表使用可
					79	W203	01234045～	
	3	学2	ヨーロッパ政治史	中村 督	132	8	～01234066 (15*****を含む)	全て持ち込み不可
					100	W203	01234067～	
	4	学3-4	国際私法	嶋 拓哉	69	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
5	学2	憲法Ⅰ(追試験)	齊藤 正彰	50	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)	
2/5 (水)	1	学2	憲法Ⅱ	鈴木 敦	128	8	～01234054	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					100	W203	01234055～	
		学3	西洋政治思想	権左 武志	53	5	全学生	全て持ち込み不可
	2	学3	民法Ⅳ	山本 周平	129	8	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	3	学2	刑法Ⅱ (平成30年度以前2年次進級者：刑法Ⅰ)	横濱 和弥	145	8	～01234093 (15*****を含む)	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					100	W203	01234094～	
		学3-4	比較法Ⅱ	会沢 恒	28	6	全学生	六法及び授業内で指示したもの
	4	学3	行政法Ⅱ	米田 雅宏	100	8	～01224076	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					72	W203	01224078～	
5	学2	刑法Ⅰ(追試験)	小名木 明宏	48	W203	全学生	全て持ち込み不可	
2/6 (木)	1	学2	比較政治	馬場 香織	127	8	全学生	全て持ち込み不可
		学3	商法Ⅲ	三宅 新	7	W401	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	2	学3	政治学	辻 康夫	144	8	全学生	全て持ち込み不可
	3	学2-4	法社会学	郭 薇	100	W203	全学生	ノート(A4両面)1枚
	4	学2	民法Ⅰ(追試験)	林 誠司	101	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)

<試験時間>

1 講時：8：45～10：15

2 講時：10：30～12：00

3 講時：13：00～14：30

4 講時：14：45～16：15

5 講時：16：30～18：00

令和 6 年度第 1 学期開講科目の 追試験に関する注意事項について

令和 6 年度第 1 学期開講科目「憲法 I」、「民法 I」、「刑法 I（R1 年度以降 2 年次進級者）」の追試験を受験する場合は、試験時間割を確認し、指定されている教室で受験してください。

なお、追試験を受験できなかった場合の代替措置は行われなため、試験前は体調管理に十分気をつけるようにしてください。

令和 6 年 1 2 月 法学部教務担当

法学部専門科目 定期試験受験上の注意

1. 試験時間中は、ロビーで声高に話をしないこと（試験室の迷惑にならないように注意すること）。
2. 受験者は、**試験開始 10 分前には試験室に入ること。**
ただし、前の試験が終了していないこともあり得るので注意すること。
3. **試験開始後 30 分経過後の遅刻者に対する受験は認めない**（遅刻しないように十分注意すること）。
4. **試験室での着席は、原則として一席置きとする。**
5. 受験者は、試験場内において、それが試験の実施に必要な限りにおいては、すべて監督者の指示に従って行動しなければならない。監督者の指示に従わないときには、退室を命ぜられることがある。
6. 受験中は、学生証を必ず机の上に提示しなければならない。**万が一忘れた場合には、試験開始前に教務担当窓口で「受験証明書」の交付を受けること。**
7. 受験者は、試験開始後 30 分間は退室することができない。**試験の途中で答案用紙を提出する者は、答案用紙の提出後、全ての所持品を持って退室しなければならない。**
8. 交付された答案用紙は、すべて提出しなければならない。
9. 六法等の持ち込みが認められることがあるが、その際には、
 - ①書き込みのあるもの
 - ②コピーを挟んだもの、貼り付けたもの
 - ③判例付きのもの（科目によって異なる）の使用は**不正行為と見なされる**。あらかじめ注意して、各自の責任で適切な六法等を準備しておくこと。
なお、六法等を忘れた者に対しての貸出しは行わない。
また、試験時間中に持ち込みの六法等を検査することがある。
10. 答案の作成は、ボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）による。特別な場合にのみ鉛筆等の使用を許可することがある。
11. 試験は、厳重な監督のもとで行われる。
法学部では当然のことながら公正さやルールを重んずることから、**不正行為は厳しく処分（停学等）される。**
12. **携帯電話を時計代わりに使用することはできない（電源を切っておくこと）。**
13. 成績公表以前に、教員に対する採点結果に関する問い合わせは禁止する。